

令和元年度 ライフサポートてをつなぐ 事業報告

【 事業概要 】

3月末で、開所より丸6年となりました。令和元年度は提供時間の都合によりサービスの提供が困難になったケースやヘルパーの利用自体を中止する方などが相次ぎました。また、新規利用者の利用の確立が難しく、継続利用となった方が少なかったこともあり、結果として収入減となってしまいました。

利用者支援に関しましては居宅介護の利点を活かし、その方に合ったより丁寧な支援に取り組んだことで、自分でできることを増やすなどのステップアップに繋がった方が増えてきました。また、通所事業所との連携を行ない、よりニーズに沿った支援に取り組むことができました。

1 利用者状況 （実利用者）

令和2年3月31日現在

項 目	内 容
平均年齢	35歳（14歳～70歳）
職員数	3名
利用者居住区別	東区0名、博多区0名、中央区5名、南区0名、城南区1名、早良区7名、西区14名 計27名

年度	契約者数 （下段は平均実利用者数）					
	契約数	身体介護	家事援助	通院等介助	移動支援	重度訪問
平成30年度	72	29	21	2	42	0
	35	15	8	2	24	0
令和元年度	75	21	17	1	36	0
	27	10	6	1	17	0

2 ヘルパー状況

	登録ヘルパー		協力職員	
	男性	女性	男性	女性
平成30年度	0	7	6	7
令和元年度	0	4	6	7

3 年間開所日数及び利用者数（一日平均利用者数）

令和元年度

年間開所日		3 5 2 日
居宅介護	1 日あたり	3. 2 人
移動支援	1 日あたり	1. 4 人

4 事業別活動状況

（1）居宅介護事業

身体介護は、入浴・排泄・食事等の場面で必要な支援を行ないました。できる限り自分の力でできるよう、写真を提示したり実際に動作をしたりするなど工夫して支援に取り組みました。また、より良い支援を行なえるよう職員間で情報の共有等を行ないました。

家事援助は、調理や掃除・洗濯などの環境における整備を行ないました。食事などはリクエスト等にできる限り応え、充実した生活が送られるよう、配慮しました。

（2）重度訪問介護事業

重度訪問介護事業は居宅介護事業における身体介護・家事援助とほぼ同様の支援内容です。現在は利用契約がなく、事業休止の状態です。

（3）移動支援事業

移動支援事業は、外出に係る支援を行ないました。主に公共交通機関利用時の切符等の購入や外出先での食事、買い物時の支払い等の補助などを行ないました。また、通院時の付き添い等も行ないました。充実した外出ができるよう、常時、安全確保を行ない、行き先や公共交通機関の時間等、事前に調べて実施しました。

5 苦情受付状況

苦情等はありませんでした。サービス利用の日時確認等、利用者、保護者との打ち合わせを密に行い、行き違いがないよう努めました。利用者、保護者、相談支援事業所等との担当者会議でのご意見やご要望は、支援計画に盛り込み、ニーズに沿った支援につなげました。